

令和3年度 自己評価・学校関係者評価書

令和 4年 3月26日

静岡聖光幼稚園

1 幼稚園の教育目標

- 自然を素直に受け止め、自然と向き合う感性や意欲を育てよう
- 人と共に生きることの喜びを味わうことのできる社会性を育てよう
- 社会の中で自尊心を持って、自分で生活を営む生きる力を育もう

2 本年度の重点課題（学校評価の具体的な目標や計画）

- 1 新しい生活様式を考え、工夫しよう。
- 2 園内の自然を取り入れた遊びや探求心を育むための活動を工夫しよう。
- 3 子ども主体の製作活動について考えよう。

3 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由	関係者評価
①保育の計画性	A	コロナ禍の状況に合わせた計画を考え、各学年や全体などで話し合いを多く行った。	○
②保育のあり方 幼児への対応	A	一人ひとりに応じて、細やかに対応していた面もあれば、チーム保育で協力し合って対応していた面もあった。	○
③教師として資質 能力、適正等	A	各学年、教員同士の良さをいかしながら取り組んでいた。	○
④保護者への対応	A	コロナ禍において参観会はできなかったが、動画配信の仕方を工夫し、保護者にも日頃の様子を伝えることが出来ていた。	○
⑤地域の自然や地 域との関わり	B	隣接する神社にて行事に参加したり、話を聞いたりすることは出来たが、コロナ禍で園外での活動が限られた。	△
⑥研修と研究	B	各研修は個々に受けられていたが、園内研修について、まだ足りない面があった。	△
⑦環境整備、 安全点検	B	点検は定期的に行っているものの、改善がすぐになされていないところもあった。	△

4 本年度の重点課題の総合的な評価結果

with コロナとして、昨年より一歩進んで、子ども達がこの状況下でも楽しめるようにさらに様々な工夫を重ねていた。課題に対し、教師が常に前向きな意識を持ち、取り組んでいた。

5 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
子ども主体の活動について考え、取り組もう。	日常遊びや行事などの面で、子どもたち自身の主体性について考慮し、皆で共有理解を図りつつ、カリキュラムを構築していく。
行事について各学年や全体で見直していこう。	今までの行事一つ一つを丁寧に色々な角度から検討し、今の子ども達の姿に見合ったより望ましい形に変えていく。

※年間を通じた各行事の見直しを課題にしたことで、各行事の前後の活動にも課題意識を持って取り組めるよう新年度は課題を2つに絞って取り組んでいく。

6 学校関係者評価委員会からのコメント

全体的な雰囲気とチームワークが良く、コロナ対応を始めとする様々な事柄に柔軟に取り組んでいる様子は好感が持てた。

一方で、一人一人の保育に対する意識の違いを感じられる部分もあり、園内研修等を工夫しながら、意見交換や教養を深め、積み重ねていくことで、より同じ方向性を目指しながら、更なる保育の質向上を目指してもらいたい。

上記、学校評価の報告を受けた事を証明します。

学校法人 大石学園
静岡聖光幼稚園
理事長 大石和正